

# 令和元年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料5-3

（ センターの名称：湘南地区地域包括支援センター すみれ ）

国評価 (3/31時点)		市評価 (3/31時点)	
○	×	○	×
51個	4個	10個	0個

<b>地域包括 支援センター 自己評価</b>	<p>平成31年度の事業計画書に基づき、事業運営を行い、独自に取り組む事業についても全職員で進捗状況を確認しながら実施した。</p> <p>認知症カフェ(すみれカフェ)を毎月1回継続開催し、市の広報紙にも掲載された。また、多職種連携の場で湘南地区の認知症カフェについてや活動内容を発表し、周知する事ができた。市の人材育成として行った孤立化予防目的の地区診断結果を、地域ケア会議で介護支援専門員や地域住民と共有する事ができた。</p> <p>地域のサロンや老人会活動への協力、湘南地区内で開催されている防災訓練・福祉祭り・関係団体が主催する会議等へ参加させて頂き、ニーズに沿った支援を行っている。</p> <p>消費者被害の傾向を念頭に置き、周知した事で、押し買い被害等の予防になった。</p> <p>個人情報資産持出/返却管理票を作成し個人情報保護に今まで以上に取り組んだ。</p>
---------------------------------	---



<b>基幹型包括 ヒアリングの ポイント及び 結果</b>	<p>【ヒアリング実施日】令和2年6月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター内で事業計画の内容や進捗状況を共有しながら、着実に事業を実施し、全体として目標を達成できている。</li> <li>・地域ケア会議や地域での取組(防災訓練や福祉祭りへの参加等)を通して、地域の関係者と、湘南地区の現状や課題の把握及び、課題解決に向けての取組を共有しながら、センターの取組を進めている。その結果、すみれカフェなどセンターの取組も地域に定着している。</li> <li>・消費者被害が多数発生していたことや団地内での住み替え状況を踏まえ、地域の関係者と連携協力して消費者被害に関する周知に注力したことにより、押し買い被害を未然に防いだ事例もあった。</li> <li>・センターの取組について研修会で発表したり、認知症のチーム員会議に事例を提出するなど、事業間連携にも積極的に取り組んでいた。</li> </ul>
---	--



推進委員会に、地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、報告し、意見徴収を行う。



<b>茅ヶ崎市 総合評価</b>	
----------------------	--

\* 市としての総合評価は、推進委員会の意見等を踏まえ、決定する。